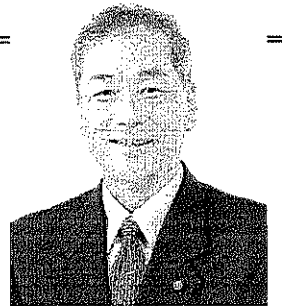


こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442
 日本共産党京都市議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130
 市議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail info@cpgkyoto.jp 2017年11月19日号



頑張れロードーシャ 頑張れ、争議団

11月12日、南区の六孫王神社にて、京都団結交流まつりが開かれました。航空機や鉄道、保育園など各分野の争議団、裁判闘争などに取り組んでいる各労働組合などがつどい、交流されました。井上議員も各労組を訪問・激励。

障害児や、「一気にならな」子どもたちの福祉や発達保障について、またそのための療育施設の運営について、8日

の議会でも井上議員が追及しました。施設の運営が、財政的に大変で、①市はもっと責任を持つべきこと、②子ども

の発達検査の待機期間が長く、担当の市児童福祉センターの職員を増員すべきこと、及び、③その為にも同センターの他の施設との統合計画は撤回すべきこと、等を求めました。

この子らを世の光に

てこない。外出の機会を拡大するのは、本制度の積極的意義は全く無視され、単に財政的に困窮しているだけの代物。市民の声を反映している」と批判しました。

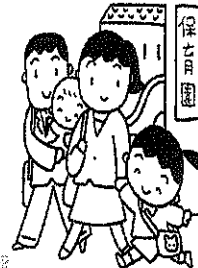
敬老乗車証について、9月に実施された①アンケートと、②市民意見募集の結果を、先頃、市が発表しました。元々この①アンケートは、「敬老乗車証制度にはお金がかかっていますか」との誘導尋問的質問ばかりで、初めから改悪ありきの、為にするアンケートでした。「見直すべき」との声が多かったです。一方、②市民意見では「現行制度維持」との声が圧倒的

でした(下段の表)。乗車証は70歳以上が対象。年一回、所得に応じて三千円〜一万五千円を負担、乗車時に提示します。市は、この負担金をなくす代わりに、乗る毎に一定額を払う方式(応益負担)に変更の方針。しかし今回のアンケートでは、その是非を問う質問は8日の議会でも井上議員は、「応益負担について、質問していかないから、今回の結果は利益負担との結果は出

保育園の申し込み受付

が始まっています

案内冊子・申し込み用紙は、区役所、各保育園、または井上議員迄。申し込みは、11月30日迄に第一希望の保育園へ。



市民しんぶん区版折込を見て寄せられた意見の概況

区分	主な内容	内訳	合計	
現行制度を維持した方がよい	健康維持や生きがいづくりなどに役立つ、生活が厳しい等の理由で、(負担金額を含め、)現状を維持すべき	284	284	
現行制度を見直した方がよい	利用者負担金の何らかの見直し又は引き上げ	何らかの形で利用者負担額を見直す(引き上げる)べき、または、引き上げはやむを得ない	62	185
	利用者負担金引き下げ	利用者負担額を下げるべき	7	
	対象年齢引き下げ	適用年齢を引き下げるなど、対象者を拡大するべき	1	
	対象年齢引き上げ	適用年齢を上げるなど、対象者を減らして維持していくべき	1	
	応益負担	乗るたびに割引運賃を負担する制度にするべき	54	
	回数券制度や回数上限制度にするべき	回数券制度や回数上限制度にするべき	1	
	無料化(利用者負担金廃止)	無料にすべき	5	
	敬老乗車証制度の廃止	敬老乗車証制度は廃止するべき	6	
	独自の制度改正案	独自の制度改正案	6	
その他の意見	見直しの具体的内容がないもの等	42		
その他	折り込みチラシへの御批判、疑問等	46億円の内訳を詳しく記載すべき、保育所整備費との比較はおかしい、高齢者は労わるべきである等	23	61
	その他の意見	個人的事情、制度への感謝、市政全体への意見等	38	

ハナから結論ありきの誘導尋問的アンケートの結果を市が「分析」
市民意見では「現行維持」が圧倒的 〓 **敬老乗車証について** 〓